



# 令和6（2024）年度 第15期とちぎの教育未来塾

第2日〔令和6（2024）年11月9日（土）〕

第15期生 86名



## 講話・演習

### ★「もっと知ろう！道徳教育」

栃木県総合教育センター研究調査部副主幹 武井 玲子



## 受講後の声

### 【現職】

◆普段の何気ない声かけも、しっかりと明確な意図をもって行うことで、子どもの行動に価値づけをしていくことができると学びました。道徳の授業だけでなく、日々の言葉かけも道徳の内容項目を意識して行っていきたいと思いました。

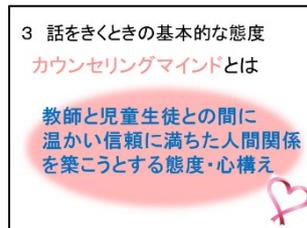
### 【学生等】

◆実際の道徳科の模擬授業を受講することができて、参考にしたいと思う点がたくさん見つかりました。内容項目についても再度学び直して、来年度から教育活動全体で声かけをしていきたいです。

## 講話・演習

### ★「子どもとのかかわり」

栃木県総合教育センター教育相談部指導主事 涌井 紀子



## 受講後の声

### 【現職】

◆学校現場では一日を通して、子どもの姿を捉える場面はたくさんあるなど再認識しました。「よくみる」と「よくきく」は、分かっている業務に追われ、忙しいと疎かになってしまうことがあったので、今後は、「よくみる」、「よくきく」にこだわっていきたいと思いました。

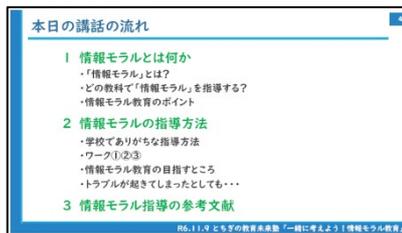
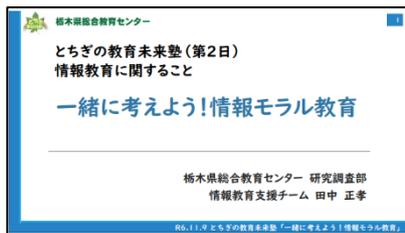
### 【学生等】

◆ワークショップを通して、誰もが同じものを見ているとは限らないと実感することができました。周りの先生方との日々の情報交換・会話を大切に、子どもを様々な視点から理解しようとするのが大切であると思いました。

## 講話・演習

### ★「一緒に考えよう！情報モラル教育」

栃木県総合教育センター研究調査部指導主事 田中 正孝



## 受講後の声

### 【現職】

◆子どもたちが正しく情報機器を使用できるように、どういったことが大切なのかを実感をもって理解し、そのことを続けていくことができるように、子どもたちの判断力や行動力を高めていきたいと思いました。

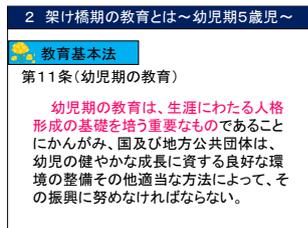
### 【学生等】

◆情報モラルの感覚や、人それぞれされて嫌なラインは違うなど、改めて情報モラル教育の必要性を実感しました。教員として、子どもたちや保護者にどのような取り組みをして欲しいかを具体的に考え、声かけを行うこともすべきなのかなと感じました。

## 講話・演習

### ★「子どもの学びや生活の基盤を育む架け橋期の教育」

栃木県総合教育センター幼児教育部指導主事 大坪 孝弘



## 受講後の声

### 【現職】

◆4月に入学したばかりの1年生の、自信や意欲でいっぱいの顔を思い出しました。学校探検中、自分の思いでいっぱいになってしまう児童の事例を協議したときに、他の先生方からたくさんアイデアを聞き、勉強になりました。

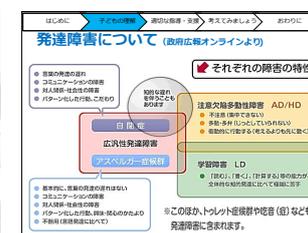
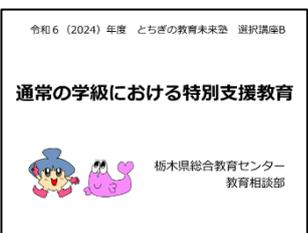
### 【学生等】

◆子どものことを理解する姿勢を忘れず、行動が常に子ども主体であることを忘れないで関わってきたいと思いました。そして幼稚園などそれまでの経験を生かす活動を通し、希望を持たせられるように、教師が前向きに指示をしていくことが大切だと思いました。

## 講話・演習

### ★「通常の学級における特別支援教育」

栃木県総合教育センター教育相談部副主幹 仁藤 裕子



## 受講後の声

### 【現職】

- ◆ 普段から「この子はどんな子なのかな、何が好きでどんなことが得意なのかな」と生徒を見て話すことが大事だと感じました。また、普段の私たち教員の生徒への関わりを生徒は見ているからこそ、平等に接し、個性を大切にすることが必要であると考えました。さらに、生徒たちの助けを得ながら生徒への関わり方をアップデートしていくことも重要であると考えました。

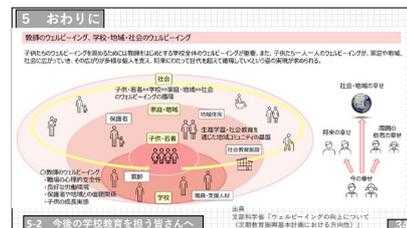
### 【学生等】

- ◆ 通常学級において、どうしても他の子と比べて落ち着きがなかったり、大声を出してしまったりするような子がいると思います。そういった場合には、今回の講座で学んだように、その子がなぜそのような行動に出ているのか、その支援策はどうするのかについてきちんと考えていきたいと思いました。

## 講話・演習

### ★「子どもの豊かな学びや成長を支える学校と地域の連携・協働」

栃木県総合教育センター生涯学習部社会教育主事 伊藤 知恵



## 受講後の声

### 【現職】

- ◆ 社会に開かれた教育課程、という意味が今回の講義で具体的に分かりました。自分が思っているより地域と関わる機会があったんだなと改めて気づかされ、これから教育現場でも意識していきたいと思いました。自分自身も学校現場にいと視野が狭くなりがちなので、積極的に地域との関わり合いの機会を作って、価値観を広げていきたいと感じました。

### 【学生等】

- ◆ 地域との連携が大切であることは漠然と分かってはいましたが、今回の講座で、地域との連携がもたらす効果について詳しく知ることが出来ました。地域と学校が一体(パートナーとして)となって子ども達を育てていくために、教員としても「人とのつながり」を意識していきたいと思いました。